



**Fabrication Factory Founding Tokyo**

公募概要

**RELEASE**  
2025/01/23

# FFF Tokyo は、デザイン／プロダクト／建築領域におけるプロトタイピングに特化したインキュベーションプログラムです。

デジタルファブリケーション技術の発達により、誰もがアイデアを具現化することができる社会環境が整いつつあります。しかし、日本および東京の強みである「ものづくり」のリソースやカルチャーを生かした起業や創業のエコシステムが十分に育っているとは言えません。

日本には、多くの優秀なデザイナー、アーティスト、クリエイターが存在しながらも、その多くが「作品」として個別的に制作される傾向にあり、スタートアップマインドをもとに事業、サービス、プラットフォームとして、アイデアの社会的影響力や発信可能性を高めていく機運が低いと言えます。また、資本主義システムが社会の前提にある限り、クリエイションにおける自律性や倫理性を担保するためにも、デザイナーとしての活動モデルや収益モデルそのものをデザインすることが求められる状況にあります。これは持続可能な社会をデザインの力によって実現していくうえでも必要な態度です。

FFF Tokyo は、以上の問題意識にもとづき、デザイン／プロダクト／建築領域のプレーヤーが持つ独自のマインド、問題意識、思考方法に最適化された9ヶ月の創業支援プログラムです。クリエイションされる着想や技術を「作品」という枠組みにとどめず、その可能性を社会的インパクトや事業性の観点からも探求し展開していくことをサポートするプラットフォームです。新しいものづくりのエコシステムの構築に参加しませんか？



## I. プログラムのゴール

このプログラムでは、参加者が以下の目標を達成することをサポートします。

### ① プロトタイプ制作

企画段階のアイデアを実際の製品やサービスとして形にし、マーケットに対応したプロトタイプを完成させることを支援します。（1）実際の製造プロセスやデザインを実践的に学ぶ機会の提供、（2）本プログラムの拠点となるものづくりを軸としたインキュベーションスペース KOCA の有する町工場ネットワークへの参加、（3）試作制作費の補助などを通して、試作制作によってプロダクトの改良を重ねていき、商品化やサービスローンチを目指します。

### ② 事業スキームの構築

上記の試作制作と並行しながら、具体的なビジネスモデルを構築し、東京都内における法人化や事業登録に至る準備が整った状態となることを目指します。プログラム内でのメンタリングや実践的な指導を通じて、事業スキームを明確化し、起業、サービスローンチ、販売などの具体的なステップを踏み出せる体制を整えることをサポートします。法人格を有していない参加者に対しては、東京都内での創業をサポートします。



## 2.応募者イメージ

- 東京都内で活動し、創業しようとしている人（現在の状況は問いませんが、必須条件となります。）
- 独自の技術や制作ノウハウを持っており、それをプロダクトやサービス化したい人
- 自身のアイデアを実際のプロダクトとして実現する意欲がある人
- プロトタイプを商品化した経験があり、事業として展開する意欲がある人
- デザイン、アート、建築などの分野において、新たな事業モデルの構築に興味がある人
- 現状有しているプロダクトを基点として、事業としてプロダクトをより発展させたい人

**具体的には、下記のような方を主な参加者として想定しています。**

- メイカーズ領域のプレーヤー
- 作品制作に留まらず事業化を狙うアーティスト
- ハードウェア系スタートアップ経営者
- ものづくりやデザイン領域における創業予定者／個人事業主
- 都内のデザイン、アート、建築系の大学院生および卒業生



## 3.募集プログラム（募集人数：15組程度）

### 3-1.概要

本プログラムは、プロトタイプ制作から事業化までのプロセスを包括的に支援し、創造性豊かなプロダクトを市場に投入することができる人材の育成を目指します。参加者は、東京都内の町工場との連携を活用し、プロトタイプ制作を通じた技術の習得、事業計画の策定、ブランド戦略の構築を行いながら、競争力のあるビジネスモデルを構築します。最終的には、プロトタイプの製作とデモデイでの成果発表により、投資家やパートナー企業とのネットワーキングを通じて事業化への足掛かりを築きます。

### 3-2.支援内容

本プログラムでは、以下の費用支援を提供します：

- 先端を走る経験ある先輩起業家やデザイナーによるメンタリング（後日発表予定）
- 試作制作費：約10組採択・最大50万円（税込）補助  
※試作制作費用は応募者多数の場合、別途選考があります。  
※資金は効果的に使うためのメンタリングを受けることが可能です。
- 海外展示会費：約5組採択・最大50万円（税込）補助  
※海外展示会は応募者多数の場合、別途選考があります。  
※資金は効果的に使うためのメンタリングを受けることが可能です。  
※試作制作費用と海外展示費用は重複申請・採択が可能です。
- デモデイ・ラピッドエキシビション参加費：展示スペース費用を補助
- 拠点となるインキュベーションスペース KOCA の有するものづくりネットワークによる支援

具体的には、下記のプログラムを通して支援します。

#### 1.メンタリング（試作制作・事業計画特化型）



- **内容**：製品デザイン、素材選定、製造工程、事業計画、財務管理、営業戦略などに関する専門的な指導を豪華なメンター陣から受けることができます。
- **形式**：1組あたり月2回程度、または合計5回程度の個別メンタリングを想定。参加者の進捗やニーズに応じて柔軟に対応します。
- **目的**：プロトタイプの実現可能性を高めるとともに、事業計画を具体化し、次の開発ステップを明確にすることを目指します。

## 2.法人化支援

- **内容**：事業計画の策定やビジネスモデルの構築に加え、法人登記や東京都内での創業手続きに関する具体的な支援を提供します。必要に応じて専門家のアドバイスや手続きのサポートを行います。
- **目的**：参加者が法人化を達成し、持続可能な事業基盤を構築することで、東京都内での創業を実現することを目指します。

## 3.試作制作支援

- **内容**：最新のデジタルファブリケーション設備（3Dプリンター、レーザーカッターなど）を活用した試作制作を支援。1組あたり最大50万円（税込）を提供します。また、東京都大田区の町工場と連携し、製造プロセスを学びながら試作品の品質を向上させることを奨励します。
- **目的**：市場性や技術的な課題を考慮し、商品化に向けた試作品を完成させます。

## 4.ブランディングデザインレビュー（参加者全員に対して10回程度）

- **内容**：プロダクトのブランドイメージを明確化し、ターゲット市場に最適なマーケティングができるよう個別レビューを実施します。なお、本イベントは非公開形式で実施されます。
- **目的**：プロダクトの付加価値を高め、市場競争力の向上を目指します。

## 5.プロトタイプの改良支援

- **内容**：プロトタイプの評価結果をもとにデザインや機能性を改良。より実用的で魅力的なプロダクトへの進化を促します。

## 6.ラピッドエキシビション（試作品の公開展示）



- **内容**：試作品を一般公開し、フィードバックを得る場を設けます。KOCA 関連施設で開催予定中。
- **補足**：常設展示スペースや売り場を活用し、プロダクトの PR や関連ワークショップも実施します。

#### 7.デモデイへの出展・参加

- **内容**：プログラム終了時にデモデイを開催し、プロトタイプや事業計画の成果を発表します。展示会出展を通じて、投資家やパートナー企業とのネットワーク機会を提供します。
- **目的**：プロダクトの市場性をテストし、事業化に向けた具体的なアクションを促します。

### 3-3.プログラム参加者の義務

- ・ 成果物としてプロトタイプ完成または事業計画書を提出すること
- ・ プログラム期間中、月 2 回程度のメンタリングに参加すること
- ・ 4 月上旬のキックオフに参加すること
- ・ メンタリングを月 2 回程度受けること
- ・ プログラム終了時までにはプロトタイプを完成すること
- ・ デモデイの参加：プログラム参加者全員が対象で、国内で成果発表を行う場です。プロトタイプや事業計画をプレゼンテーションし、投資家やパートナー企業とのネットワークを構築する機会を提供します。



## 5. プログラムのスケジュール

- 応募期間：2025年1月24日（金）～2025年3月10日（金）
- 書類選考の通知：2025年3月17日（月）までに面談の可否の結果を通知します。
- 選考面談日：3月20日（木）または21日（金）
  
- プログラム参加者発表日：2025年3月下旬を予定
- プログラム期間：2025年4月1日（水）～2026年2月27日（金）
- キックオフイベント：2025年4月中旬を予定





## 6.選考方法について

書類（一次選考）と面接（二次選考）による選考を実施します。

- 一次選考（書類審査）：以下の書類をオンラインで提出してください。
  - 応募申請書：申請様式（Google Form）を提出して下さい。
  - FFF 提案書（様式自由）  
FFF で何を達成したいのか企画・提案して下さい。プロダクト、事業モデル、ターゲット、市場のイメージなどがあれば、具体的に言及して下さい。選考の際に、最も重要視する資料です。
- ※以下はある方のみご提出ください。
  - ポートフォリオ：過去の制作実績や作品、プロダクトなど
  - 過去の展示や販売実績がわかる資料
  - 会社概要及びパンフレット、製品カタログ、申請者プロフィール
- 二次選考（対面審査）：一次選考を通過した方だけをお呼びします。
  - 事務局およびメンターによる審査を行います。
  - 面接は東京都大田区にて、対面で行います。どうしても現場参加できない場合、例外的にオンラインでの審査を認める場合があります。
- **選考基準**  
以下の観点から、多様な人材を総合的に判断、選考します。
  - 事業計画の具体性と実現可能性
  - 応募者の事業者としての安定性（収支計画や企画の市場性などから判断）
  - ビジョンの明確さと成長意欲、目標
  - 試作アイデアの独創性および実現可能性
  - メンターや他のプログラム採択者と良い関係を生み出す人間性
  - 今後、東京都で活動する意思があるかどうか



## 7. プログラムのメリットと特徴

- **試作づくりに専念できる環境**
  - 「KOCA」などのインキュベーション施設での制作が可能となります。また、大田区内の町工場とのコラボレーションにより、実際の製造プロセスを体験することもできます。
- **バックアップやコンサルティング支援**
  - プログラムでは専門家がメンターとして参加し、マーケティング、販路拡大、国内外での発信や展示会への出展機会の提供などを通して、クリエイターの事業成長を具体的に支援します。
- **各種展示会でのフィードバック機会**
  - デモデイやラピッドエキシビションでユーザや投資家などを招き、専門家や投資家からのフィードバックを得る機会を提供することで、製品の市場適応性を高めます。
- **メンターとの共同戦略構築**
  - 参加者にとって、メンターと一緒に製品やビジネスモデルの計画を立てられることもメリットの一つです。このプロセスにより、製品のコストや価格設定について具体的な提案を受けることができます。



## 8.FAQ

### 1. プログラムへの参加資格に関する質問

- Q: 応募に必要な条件は何ですか？
  - A: 何らかのものづくりや作品などの制作経験があることが必須です。デザイン、プロダクト、建築などの分野で活動している方を主に想定しています。
- Q: 学生でも応募できますか？
  - A: はい、大学院生などの応募も想定しております。ただし、プログラムのスケジュールにフルタイムで参加できることが条件となります。
- Q: チームでの応募は可能ですか？
  - A: はい、チームでの応募も受け付けています。

### 2. 支援内容に関する質問

- Q: プロトタイプ制作のための機材利用は無料ですか？
  - A: はい、プログラム参加者は、KOCA の設備（3D プリンター、レーザーカッターなど）を利用することができます。ただし、材料費など自己負担となる場合があります。
- Q: 事業化支援にはどのような内容が含まれますか？
  - A: メンタリング、事業計画策定支援、ブランディング戦略の立案支援、デモデイや展示会出展のサポートなど、事業化に必要な支援が含まれます。

### 3. 応募方法に関する質問

- Q: 応募はどのように行えばいいですか？
  - A: 応募はオンラインで行います。公式ウェブサイトにて、必要な書類をアップロードし、指定されたフォームに情報を入力してください。
- Q: 提出する書類のフォーマットに決まりはありますか？
  - A: 企画書や事業計画書は PDF 形式での提出が必須です。また、ポートフォリオは画像ファイル（JPEG、PNG）または PDF で提出できます。
- Q: 一度提出した応募書類を修正できますか？
  - A: 応募締切前であれば、再度提出することで修正可能です。ただし、締切後の修正は一切受け付けていませんので、内容をよく確認したうえで提出してください。

### 4. プログラム進行に関する質問

- Q: プログラムの期間中、他の仕事や学業との両立は可能ですか？



- A: 可能です。ただ、プログラムの活動には一定のコミットメントが求められるため、スケジュール調整が必要です。活動スケジュールは事前に公開されるので、応募前にご確認ください。
- Q: 成果物はどのように発表されますか？
  - A: 成果物（プロトタイプまたは事業計画書）は、プログラム終了時のデモデイで発表され、事務局によるレビューを受けます。
- Q: プログラム中、撮影されることはありますか？
  - A: 弊社の各メディアや出版物、報告書など使用するために、プログラム受講中に画像や映像の撮影を行いますので、ご了承ください。もちろん、特許に関わる部分などの撮影については、十分に配慮いたします。



## 9.問い合わせ先・運営母体@カマタについて

@カマタは、不動産、建築、アート、デザイン、プロダクトなどを専門とするプレイヤーによって構成されています。業務やプロジェクトに応じて最適なチームをつくり、様々な主体とコラボレーションしながら目的を達成していきます。



拠点となるものづくりをテーマとしたインキュベーションスペース KOCA

### 概要

会社名 株式会社アットカマタ（通称：@カマタ）  
ウェブ <https://www.atkamata.jp/>  
連絡先 info@ffftokyo.com  
住所 〒143-0015 東京都大田区大森西 6 丁目 17-17 KOCA

### 事業内容

1. クリエイティブプラットフォームの運営及び管理
2. 不動産に関するプロパティマネジメント、開発、再生プロデュース
3. 家具・什器・プロダクトの企画、デザイン、制作、販売
4. クリエイターのマッチング
5. 各種イベントの企画、運営、ファシリテーション
6. 各種事業の調査、研究、教育、講演、出版事業
7. エリア再生に関するコンサルティング
8. 飲食店の経営
9. その他前各号に付帯又は関連する一切の業務

本プログラムは、多様な主体によるスタートアップ支援展開事業「[TOKYO SUTEAM](#)」における協定事業

